

## 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数 ..... 320,000,000 株  
発行済株式の総数 ..... 74,919,379 株  
株主数 ..... 13,649 名

### 大株主

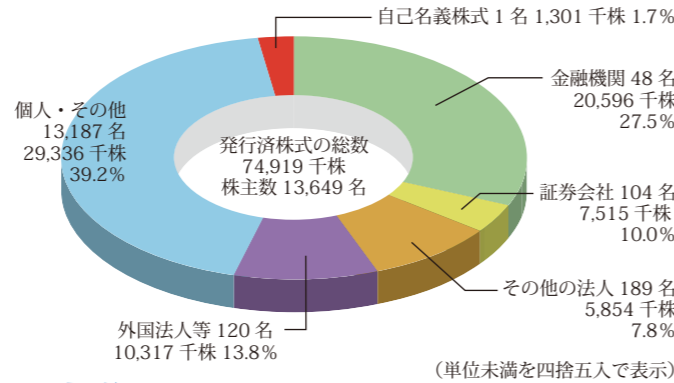
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	4,592	6.12
株式会社森精機製作所	2,200	2.93
第一生命保険株式会社	2,100	2.80
ノムラ インターナショナル ピーエルシーアカント ジャパン フロウ	1,670	2.22
株式会社三井住友銀行	1,516	2.02
株式会社北越銀行	1,484	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,299	1.73
ツガミ取引先持株会	1,202	1.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,164	1.55
野村證券株式会社	1,100	1.46

- (注) 1. 株数は単位未満を切り捨て、出資比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
2. みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数4,592千株は、㈱東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は㈱東京精密が留保しております。  
3. 当社は自己株式を1,300千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 会社の概要 (平成24年9月30日現在)

商号 株式会社ツガミ  
設立 昭和12年3月  
本店所在地 東京都中央区日本橋富沢町12番20号  
資本金 12,345百万円  
従業員数 466名  
役員状況 (平成24年10月1日現在)  
代表取締役 CEO 西嶋尚生  
代表取締役 COO 田内清  
代表取締役 COO 新嶋敏治  
取締役 COO 三浦由博  
取締役 邊 幸賢  
" 唐 東雷  
社外取締役 中川威雄  
" 山田健司  
" 島田邦雄  
常勤監査役 本間利雄  
社外監査役 宮田芳文  
" 玉井宏明  
" 木村龍一  
本社・工場 本社 東京都中央区日本橋富沢町12番20号  
長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号  
高見工場 新潟県長岡市東高見2丁目1番2  
新潟工場 新潟県新潟市東区桃山町2丁目132番地  
営業拠点 東日本営業部 (東京)  
中部営業部 (名古屋)  
西日本営業部 (大阪)  
ツガミグループ 株式会社ツガミマシナリー  
株式会社ツガミ総合サービス  
株式会社ツガミプレジジョン  
津上精密机床 (浙江) 有限公司 [中国]  
浙江品川精密機械有限公司 [中国]  
TSUGAMI (THAI) CO., LTD. [タイ]  
TSUGAMI GmbH [ドイツ]  
TSUGAMI KOREA Co.,Ltd [韓国]  
TSUGAMI PRECISION ENGINEERING INDIA PVT. LTD. [インド]  
TSUGAMI TECH SOLUTIONS INDIA PVT. LTD. [インド]  
TSUGAMI Universal Pte. Ltd. [シンガポール]

## 所有者別株式分布状況



## 株式メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
剰余金の配当の基準 期末配当の基準日は、毎年3月31日  
なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
同連絡先 郵便番号 137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-7111(通話料無料)  
公告の方法 電子公告により、当社ホームページ(http://www.tsugami.co.jp/)に掲載いたします。  
なお、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、官報に掲載して行います。  
上場金融商品取引所 東京証券取引所

## お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。

# 株主の皆様へ

第110期中間報告書 平成24年4月1日～平成24年9月30日



## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第110期第2四半期の営業の概要等につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要、エコカー減税などによる下支え効果により緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州債務危機の深刻化、中国など新興国の景気減速の影響を受け、次第に不透明感が強まりました。

工作機械業界におきましても、円高の長期化、国内需要の伸び悩み、中国の景気減速などの影響を受け厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは、タイ洪水復興需要およびスマートフォン向けの本格寄与から、売上、利益とも大幅に増加いたしました。

売上高は、前年同四半期比106.5%増の34,409百万円となりました。

営業利益は同303.4%増の5,636百万円、経常利益は同308.0%増の4,982百万円、四半期純利益は同259.0%増の3,136百万円となりました。

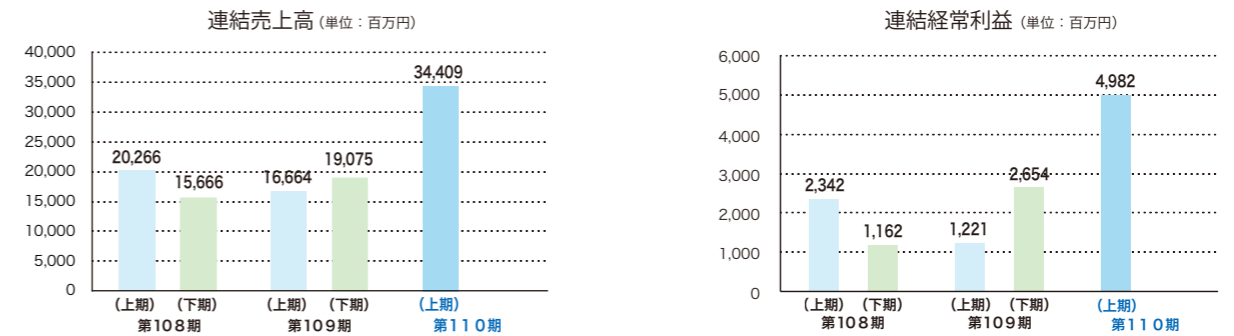
平成25年3月期の中間利益配当金につきましては、当初予想のとおり、1株につき6円の配当とさせていただきます。なお、期末配当金につきましても6円(年間12円)を予定しております。

引き続き売上の拡大と生産の効率化・原価低減に努め、お客様のニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実に努め、常に顧客満足度の向上を目指し、お客様に信頼され必要とされる製品を提供できる経営に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月  
代表取締役 CEO 西嶋尚生

## 連結業績の推移



## 営業成績および財産の状況の推移

区分	第108期		第109期		第110期
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)
売上高(百万円)	20,266	35,932	16,664	35,739	34,409
経常利益(百万円)	2,342	3,504	1,221	3,875	4,982
当期(四半期)純利益(百万円)	2,039	2,837	873	2,281	3,136
1株当たり当期(四半期)利益(円)	30.58	42.72	13.22	33.88	42.62
総資産(百万円)	37,763	35,860	38,384	50,757	46,446
純資産(百万円)	21,125	22,122	22,008	27,717	29,305
1株当たり純資産(円)	314.21	331.39	327.64	372.21	392.42

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結財務諸表

### ◆連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 (平成24年9月30日)	前期 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	33,269	37,108
現金及び預金	5,020	5,314
受取手形及び売掛金	10,214	10,536
たな卸資産	16,892	18,808
その他	1,142	2,449
固定資産	13,151	13,616
有形固定資産	8,648	7,234
建物・機械装置・運搬具等	7,746	5,690
土地	581	581
その他	320	962
無形固定資産	184	149
投資その他の資産	4,318	6,233
繰延資産	25	32
資産合計	46,446	50,757
<b>負債の部</b>		
流動負債	16,091	21,476
支払手形及び買掛金	12,709	16,503
短期借入金	—	2,107
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	1,191	1,413
その他	1,890	1,151
固定負債	1,049	1,563
社債	150	300
その他	899	1,263
負債合計	17,141	23,040
<b>純資産の部</b>		
株主資本	29,085	26,264
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	5,884	5,884
利益剰余金	11,326	8,535
自己株式	△ 470	△ 499
その他の包括利益累計額	△ 195	1,106
その他有価証券評価差額金	84	1,114
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△ 280	△ 9
新株予約権	415	345
純資産合計	29,305	27,717
負債純資産合計	46,446	50,757

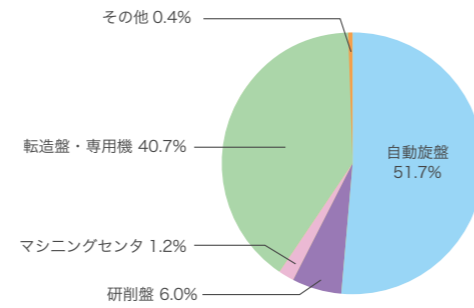
### ◆連結損益計算書

(単位：百万円)

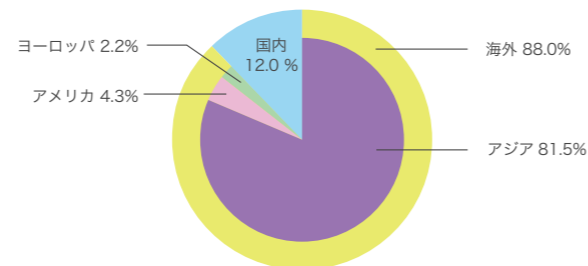
科目	当第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	34,409	16,664
売上原価	25,723	13,157
売上総利益	8,686	3,506
販売費及び一般管理費	3,049	2,109
営業利益	5,636	1,397
営業外収益	56	73
営業外費用	711	249
経常利益	4,982	1,221
特別利益	0	0
特別損失	110	11
税金等調整前四半期純利益	4,872	1,210
法人税・住民税及び事業税	1,601	429
法人税等調整額	133	△ 92
四半期純利益	3,136	873

### ◆売上高構成比 (連結)

事業の機種別 売上高構成比(当第2四半期)



地域別売上高構成比(当第2四半期)



## 新製品を市場に投入

### ◆CNC 精密自動旋盤 B020M

立形マシニングセンタと自動盤を融合させて、バー材から複雑形状部品の完品加工が可能な「CNC 精密自動旋盤 B020M」を開発しました。

- ATC(自動工具交換装置)を持った自動旋盤のため、ワークの多方向からの加工が可能。それにより立形マシニングセンタ以上の複合加工が可能
- 正面と背面加工のオーバーラップおよび多彩な加工パターンにより生産性も向上
- 24本ツールマガジン、B軸ツールスピンドルによりあらゆる複合加工が可能



### ◆CNC 精密自動旋盤 SS267/SS327

B軸刃物台付きのスイスターの大径加工機として「CNC 精密自動旋盤 SS267/SS327」を開発しました。

- 主軸移動型自動旋盤にB軸連続刃物台を搭載し、究極の複合加工が可能
- CAD/CAMによる同時多軸加工が可能
- Y軸付背面刃物台により、背面側と主軸側複合加工の完全オーバーラップ加工が可能



### ◆CNC 精密自動旋盤 BH38-II

B軸回転工具の搭載により、複合加工能力を更に向上させた「CNC 精密自動旋盤 BH38-II」を開発しました。

- タレット上のB軸回転工具によりツールをNCプログラムで傾け、斜め穴加工をはじめ、B軸連続加工が可能
- タレット+くし刃+背面刃物台全てでY軸制御による複合加工が可能
- 3系統制御によりサイクルタイムの大幅短縮が可能



### ◆CNC 精密自動旋盤 B0126-II/B0206-II

小径機のB012-II/B020-IIシリーズでY軸背面複合加工が可能な「CNC 精密自動旋盤 B0126-II/B0206-II」を開発しました。

- Y軸付き背面刃物台により、背面複合加工と主軸側での完全オーバーラップ加工が可能
- ロープライスシリーズ機でもあらゆる複合加工が可能
- 自動プログラミングソフトを標準付属



### ◆立形高速マシニングセンタ VA1-II

小物ワークの高速・高効率加工に最適な「立形高速マシニングセンタ VA1-II」を開発しました。

- 早送り速度X・Y・Z 40m/minと高速主軸により、小物ワークの高速・高効率加工に最適
- 工具交換時間(Chip To Chip) 1.3sec
- 横幅1040mmのコンパクトマシン。スペースあたりの生産性が向上
- 主軸、ATC、ツールマガジンは一体構造。
  - ・任意の位置で工具交換ができるため、工具交換時間は最短
  - ・ツールマガジンが14本(使用最大工具本数：15本)を標準装備
- 密閉式オイルガードにより、切削油の飛散を防止



## 展示会に出展

取引先の開拓を積極的に進めてまいりました。2012年7月12日から2日間、ツガミ長岡工場にてツガミテクニカルフェア2012を開催いたしました。2012年9月10日から6日間、米国(シカゴ)で開催されたIMTS2012(米国国際工作機械展示会)に出展いたしました。国内外より大勢のユーザー、ディーラー様に来場いただき、活発な商談を行いました。



ツガミテクニカルフェア2012